

## 4. 令和3年度の取組み内容の共有

※本年度の各構成員における取組み状況につきまして、協議会内で共有いたします。

# 【士別市】流域治水プロジェクトの取組 ～令和3年度～

計画表(士別市)

項目	短期	中期	長期
田んぼダムの活用	広報+拡大	継続	
自然地保全	適宜		
雨水貯留、浸透施設	既存施設の確認	排水不全等の改善	継続
土地利用(立地適正化計画、災害危険区域指定等)	適宜		
高台整備、二線堤、住居移転などの住まい方の工夫	検討	実施の判断	実施

## 田んぼダムの活用

- ・田んぼ2,480 ha(作付面積)のうち、**約687haを田んぼダムとして活用**しています
- ・一部の地区(中士別地区)で検討が行われたが、新たな田んぼダムの追加とはならなかった。
- ・今後は更に拡大をはかるため、引き続き、地域住民に対するPR等を実施いきます。

減災対策協議会における「取組方針」(士別市)

項目	取組予定
	取組内容
マイタイムラインの作成の促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自治会等に対する出前講座を通じてマイタイムラインの必要性について普及を図る。合わせて作成スケジュールを作成</li> <li>・コロナ禍のため出前講座が実施出来なかったが、一部の小学校に対し、資料を提供し作成を促した。</li> </ul>
確実な避難行動の実施(要配慮者利用施設)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・R3年度までに全ての要配慮者利用施設において避難確保計画策定</li> <li>・避難訓練実施状況を確認し、洪水想定の実施を促進</li> </ul> <p>取組み予定と同様</p>
ハザードマップの利用促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作成することによる効果と作成費用を検討し、まるごとまちごとハザードマップ等の作成を決定する。</li> </ul> <p>未検討(R4以降)</p>
防災教育の徹底	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関係機関と連携し、計画的に出前講座を行う。</li> <li>・小学4年生を対象とした校外学習の場を活用した出前講座</li> </ul>
ハザードマップ対象外地区の対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対象外となっている地区の水害リスクを把握し、避難判断マニュアルへの反映</li> <li>・洪水危険度分布(キキクル)の反映</li> <li>・R4防災訓練の対象地区として実施し、住民意識の高める予定</li> </ul>

# 【名寄市】流域治水プロジェクトの取組 ～令和3年度～

計画表(名寄市)

項目	短期	中期	長期
田んぼダムの活用	広報+拡大	継続	
自然地保全	適宜		
土地利用(立地適正化計画、災害危険区域指定等)	適宜		
高台整備、二線堤、住居移転などの住まい方の工夫	検討	実施の判断	実施

田んぼダムの活用

- ・田んぼ3,600 ha(作付面積)のうち、**435haを田んぼダムとして活用**しています
- ・今後は更に拡大をはかっていきます

高台整備

- ・防災拠点施設及び高台整備について 関係機関と協議した

減災対策協議会における「取組方針」(名寄市)

項目	取組予定
	取組内容
マイタイムラインの作成の促進	<p>①出前講座や防災セミナーなどの機会を通じてマイタイムライン作成の必要性などを周知する。 ②町内会(自主防災組織)を通じて作成サポートができるような計画策定に向けて検討を進める。</p> <p>防災訓練及び防災セミナーでマイタイムライン作成の講習会を実施。</p>
確実な避難行動の実施(要配慮者利用施設)	<p>①R3年度までに、地域防災計画に記載された全ての要配慮者利用施設において避難確保計画策定をめざす。②避難確保計画の策定にあたり、継続した支援を実施する予定。③要配慮者施設においての避難訓練の実施について支援を実施予定。</p> <p>要配慮者利用施設に資料を送付し、避難確保計画の策定及び避難訓練の実施を促す。</p>
ハザードマップの利用促進	<p>①R3年度以降に、市内幹線道路等の案内看板の増設等を検討する②3Dハザードマップを作成について検討を進める。</p> <p>市内幹線道路等にまるごとまちごとハザードマップの標識を増設する。</p>
防災教育の徹底	<p>①関係機関と連携し、計画的に出前講座を実施予定。</p> <p>出前講座を実施する。</p>
ハザードマップ対象外地区の対応	<p>①ハザードマップを更新する予定。</p> <p>ハザードマップ更新(令和4年度予定)の準備を進める。</p>

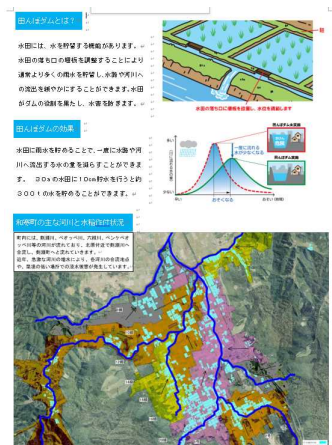
# 【和寒町】流域治水プロジェクトの取組 ～令和3年度～

## 計画表(和寒町)

項目	短期	中期	長期
田んぼダムの活用	広報+拡大	継続	
自然地保全	適宜		
土地利用(立地適正化計画、災害危険区域指定等)	適宜		
高台整備、二線堤、住居移転などの住まい方の工夫	検討	実施の判断	実施

## 田んぼダムの活用

・平成28年から各環境保全会(町内10組織)の協力をいただき、水田834 ha(作付面積)のうち834haを田んぼダムとして災害に備えています。



## 減災対策協議会における「取組方針」(和寒町)

項目	取組予定
	取組内容
マイタイムラインの作成の促進	住民一人一人が取る防災行動を時系列的に整理したマイタイムライン作成の意識向上のため、他市町村の取組を参考に実施 想定最大規模ハザードマップの更新による浸水域が従来より広範囲となることから、避難行動意識向上に向けた地域の取組支援
確実な避難行動の実施(要配慮者利用施設)	R3年度までに全ての要配慮者利用施設において避難確保計画策定予定(避難確保計画策定の支援を実施する) 想定最大規模ハザードマップの更新による計画の見直し相談
ハザードマップの利用促進	想定最大規模ハザードマップ作成されたことから、まるごとまちごとハザードマップ導入の可否について検討。 想定最大規模ハザードマップの更新による浸水域範囲の認識状況を今後確認し、導入の可否を検討
防災教育の徹底	関係機関と連携し、小中学生を対象とした水防学習会や出前講座等による防災教育及び、避難訓練について、防災教育の素材等を学校に説明をし実施を検討 防災教育の素材等について学校への情報提供と、学校の取組授業の支援
ハザードマップ対象外地区の対応	今後も、必要に応じハザードマップの更新を検討 想定最大規模ハザードマップの更新時に対象外地区を含めたことから、追加箇所の有無の把握に努める

# 【剣淵町】流域治水プロジェクトの取組 ～令和3年度～

計画表(剣淵町)

項目	短期	中期	長期
田んぼダムの活用	広報+取組拡大	継続	
自然地保全	適宜		
農地への浸水対策	適宜		
下水道事業による浸水対策	適宜		
高台整備、二線堤、住居移転などの住まい方の工夫	検討	実施の判断	実施

田んぼダムの活用

- ・田んぼ695 ha(作付面積)です。
- ・今後、活用に向けて検討していきます。(農政部局と協議中)

減災対策協議会における「取組方針」(剣淵町)

項目	取組予定
	取組内容
マイタイムラインの作成の促進	<p>①R3年度から自治会や高齢者サロン等を対象に作成サポートを実施予定。</p> <p>研修依頼元の要望もあり、実施できなかった。今後も地域の防災研修会等において、普及・促進に取り組む。</p>
確実な避難行動の実施(要配慮者利用施設)	<p>①該当となった要配慮者利用施設に、避難確保計画策定の支援を実施する。</p> <p>町内の施設等に、必要に応じて積極的な支援を行った。</p>
ハザードマップの利用促進	<p>①R3年度以降、ハザードマップの説明会を実施予定。</p> <p>昨年度改訂したハザードマップを活用し、地域の防災研修会等で利用促進に取り組んだ。</p>
防災教育の徹底	<p>①関係機関と連携し、計画的に出前講座を実施予定。</p> <p>②R3年度は当協議会で作成する「防災教育」の素材を教育委員会に提供、説明を予定。</p> <p>北海道の協力を得て、自治会長や地域安全部長、小中学生等を対象とした避難所運営研修や防災教室を実施した。</p>
ハザードマップ対象外地区の対応	<p>①R3年度以降、ハザードマップの説明会を実施予定。</p> <p>昨年度改訂したハザードマップを活用し、地域の防災研修会等で説明を実施した。</p>

# 【下川町】流域治水プロジェクトの取組 ～令和3年度～

計画表(下川町)

項目	短期	中期	長期
田んぼダムの活用	広報+取組拡大	継続	
自然地保全	適宜		
雨水貯留、浸透施設	適宜		
下水道事業による浸水対策	適宜		
土地利用(立地適正化計画、災害危険区域指定等)	適宜		
高台整備、二線堤、住居移転などの住まい方の工夫	検討	実施の判断	実施

## 流域治水に関する説明・意見聴取

・12月に流域治水について、内容説明及び意見を聴くため、住民代表への説明会を実施



## 町長による河川危険箇所視察

・水防関連危険個所の関係者間の認識統一を図るため、町長による視察を実施



減災対策協議会における「取組方針」(下川町)

項目	取組予定
	取組内容
マイタイムラインの作成の促進	①R4～5年度はモデル地区を決定し先行的なタイムライン作成のサポートを実施予定。 ②R6年度以降は計画に基づきサポートを地区実施予定。  一部公区及び小学校高学年に対し「逃げキッド」の紹介を実施
確実な避難行動の実施(要配慮者利用施設)	R3年度中に全ての要配慮者利用施設において避難確保計画策定予定。  要配慮者利用施設の避難確保計画策定を実施
ハザードマップの利用促進	引き続きR3年度はまるごとまちごとハザードマップについて検討継続。  最新版をR3年4月に全戸に配布 町有施設の壁面に浸水深を表示する方向で検討開始
防災教育の徹底	①関係機関と連携し、計画的に出前講座を実施予定。 ②R3年度は当協議会で作成する「防災教育」の素材や資料を教育委員会に提供予定。  高校、小学校において出前講座実施。
ハザードマップ対象外地区の対応	引き続き、次回の改定時にもデータ併用により対応したい。  空白地について、状況を把握中。



# 【美深町】流域治水プロジェクトの取組 ～令和3年度～

計画表(美深町)

項目	短期	中期	長期
田んぼダムの活用	広報+取組拡大	継続	
自然地保全	適宜		
雨水貯留、浸透施設	既存施設の確認	排水不全等の改善	継続
下水道事業による浸水対策	適宜		
土地利用(立地適正化計画、災害危険区域指定等)	適宜		
高台整備、二線堤、住居移転などの住まい方の工夫	検討	実施の判断	実施

田んぼダムの活用

- ・田んぼ215 ha(作付面積)のうち、**215haを田んぼダムとして活用**しています

減災対策協議会における「取組方針」(美深町)

項目	取組予定
	取組内容
マイタイムラインの作成の促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・R3年度は住民による作成サポート計画を立案予定。</li> <li>・小学校の社会科の学習で説明</li> </ul>
確実な避難行動の実施(要配慮者利用施設)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・R3年度までに全ての要配慮者利用施設において避難確保計画策定予定。</li> <li>・地域防災計画上での要配慮者利用施設の指定</li> </ul>
ハザードマップの利用促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まるとまちごとハザードマップの作成を検討。</li> <li>・まるとまちごとハザードマップの作成を検討。</li> </ul>
防災教育の徹底	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水防訓練を小学校で行うよう検討。</li> <li>・社会科の学習(防災にそなえるまちづくり)開催</li> </ul>
ハザードマップ対象外地区の対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・氾濫計算を実施し、ハザードマップを更新を検討。</li> <li>・氾濫計算を実施し、ハザードマップを更新を検討。</li> </ul>

# 【音威子府村】流域治水プロジェクトの取組 ～令和3年度～

計画表(音威子府村)

項目	短期	中期	長期
田んぼダムの活用(旧川)	広報+拡大	継続	
自然地保全	適宜		
雨水貯留、浸透施設	既存施設の確認	排水不全等の改善	継続
高台整備、二線堤、住居移転などの住まい方の工夫	検討	実施の判断	実施

## 旧川の活用

・住民懇談会において、流域治水の説明の中で活用について検討することの周知を行った。

減災対策協議会における「取組方針」(音威子府村)

項目	取組予定
	取組内容
マイタイムラインの作成の促進	<p>①R3以降に住民による作成サポート計画を立案予定。</p> <p>マイタイムライン作成に向けた情報収集を行った。</p>
確実な避難行動の実施(要配慮者利用施設)	<p>①今後、地域防災計画に位置づけた要配慮者利用施設において避難確保計画策定予定。</p> <p>福祉部局との作成に向けた準備を行った。</p>
ハザードマップの利用促進	<p>①毎年記載内容を確認し、必要に応じて更新を検討する。</p> <p>夏の大雨時期前にハザードマップの点検を実施。</p>
防災教育の徹底	<p>①関係機関と連携し、引き続き実施に向け検討。</p> <p>実施内容について課題の洗い出しを行った。</p>
ハザードマップ対象外地区の対応	<p>①影響のある地域については、ハザードマップを見直す際に対象地域に加える予定。</p> <p>該当箇所について影響の有無を判断・検討を行った。</p>



# 【中川町】流域治水プロジェクトの取組 ～令和3年度～

計画表(中川町)

項目	短期	中期	長期
田んぼダムの活用(旧川)	広報+取組拡大	継続	
自然地保全	適宜		
雨水貯留、浸透施設	既存施設の確認	排水不全等の改善	継続
土地利用(立地適正化計画、災害危険区域指定等)	適宜		
高台整備、二線堤、住居移転などの住まい方の工夫	検討	実施の判断	実施

## 旧川の活用

- ・旧川の貯留効果について検討中
- ・今後は流路等を確認し、更なる効果を期待

減災対策協議会における「取組方針」(中川町)

項目	取組予定
	取組内容
マイタイムラインの作成の促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・R3年度以降に実施予定の防災計画見直しに併せてタイムラインの見直しを実施予定。</li> <li>実施に向けて検討した。</li> </ul>
確実な避難行動の実施(要配慮者利用施設)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・R3年度以降に実施予定の防災計画見直しに併せて、改めて避難行動要支援者の避難支援体制の確認・見直しを実施予定。</li> <li>避難訓練においても適宜実施予定</li> <li>・避難行動要支援者の避難支援体制の構築については、引き続き検討する。</li> <li>・令和3年7月21日に佐久地区において住民避難訓練を実施した。</li> </ul>
ハザードマップの利用促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・天塩川の洪水浸水想定区域等の変更や、北海道が管理する河川において公表されている浸水想定区域を考慮したハザードマップの作成を、R3年度以降に実施予定の防災計画見直しに合わせて行う予定。多言語化については今後検討を行う。</li> <li>“天塩川の洪水浸水想定区域等の変更や、北海道が管理する河川において公表されている浸水想定区域を考慮した”ハザードマップを作成した。新年度、早々に住民等に配布する。</li> </ul>
防災教育の徹底	<ul style="list-style-type: none"> <li>・名寄河川事務所と連携し、小中学校を対象とした水防学習会や出前講座等による防災教育を定期的実施予定。令和3年度については実施を検討。</li> <li>・令和3年6月23日に中央小学校で水防学習会を実施済み。また、中川中学校で防災教室を開催。</li> </ul>
ハザードマップ対象外地区の対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対象外となっている地区の住民を対象に説明会を実施予定。</li> <li>・“新”ハザードマップを活用した説明を検討中。</li> </ul>

# 【旭川開発建設部】流域治水プロジェクトの取組 ～令和3年度～

## 計画表(旭川開発建設部)

項目	短期 (R3~R7)	中期 (~R12)	長期 (R13~)
【河川事業】 河道掘削、堤防整備等 (名寄市街地)	→		
【河川事業】 河道掘削、排水機場改築等 (点在する市街地)		→	
【河川事業】 河道掘削、堰改築、堤防整備 (点在する市街地)			→

## R3年度の取組内容

### 河川事業



# 【上川総合振興局】流域治水プロジェクトの取組 ～令和3年度～

## 計画表(旭川建設管理部)

項目	短期 (R3～R7)	中期 (～R12)	長期 (R13～)
豊栄川総合流域防災事業	➡ (R5完了予定)		
忠烈布川総合流域防災事業	➡ (R6完了予定)		
ペンケペオツペ川総合流域防災事業	➡ (R7完了予定)		
剣淵川広域河川改修事業 (上流工区)	➡ (R7完了予定)		
剣淵川広域河川改修事業 (犬牛別川工区)	➡ (R7完了予定)		
剣淵川広域河川改修事業 (六線川工区)	➡ (R7完了予定)		
十六線川通常砂防事業	➡ (R3完了予定)		
朝日六線川通常砂防事業	➡ (R4完了予定)		
東二号の沢川通常砂防事業	➡ (R4完了予定)		

## R3年度の取組内容

過年度から引き続き、河道掘削、砂防堰堤整備等を推進する。



豊栄川 施工中箇所(河川)



十六線川 施工中箇所(砂防)

# 【上川総合振興局】流域治水プロジェクトの取組 ～令和3年度～

計画表(上川総合振興局産業振興部整備課(整備課・北部耕地出張所))

項目	短期 (R3～R7)	中期 (～R12)	長期 (R13～)
農業農村整備事業 (農地の整備・ため池等の整備)	→		
農地整備事業(中士別第1一期地区)	→		
農地整備事業(中士別第1二期地区)	→		
農地整備事業(中士別第2地区)	→		
農地整備事業(中士別第3地区)	→		
畑地帯総合整備事業(ちえぶん地区)	→		
田んぼダムの広報	→		

R3年度の取組予定

## 農業農村整備事業

農地の整備による貯留機能向上(田んぼダムの取組の基盤を整備)  
農地整備事業において、水田の畦畔や落ち口を整備することにより、水田の貯留機能の向上をはかる。

## 排水路の整備

畑地帯総合整備事業において、排水施設の整備、耐水化をはかる。

## 田んぼダムの取組に関する広報

関係機関等に田んぼダムの取組について、広報を行なう。

R3年度の取組内容

## 農業農村整備事業の実施

北部耕地出張所において、農地整備事業を実施し、田んぼダムの取組の基盤を整備した。

また、畑地帯総合整備事業を実施し、排水施設の整備と耐水化をはかった。

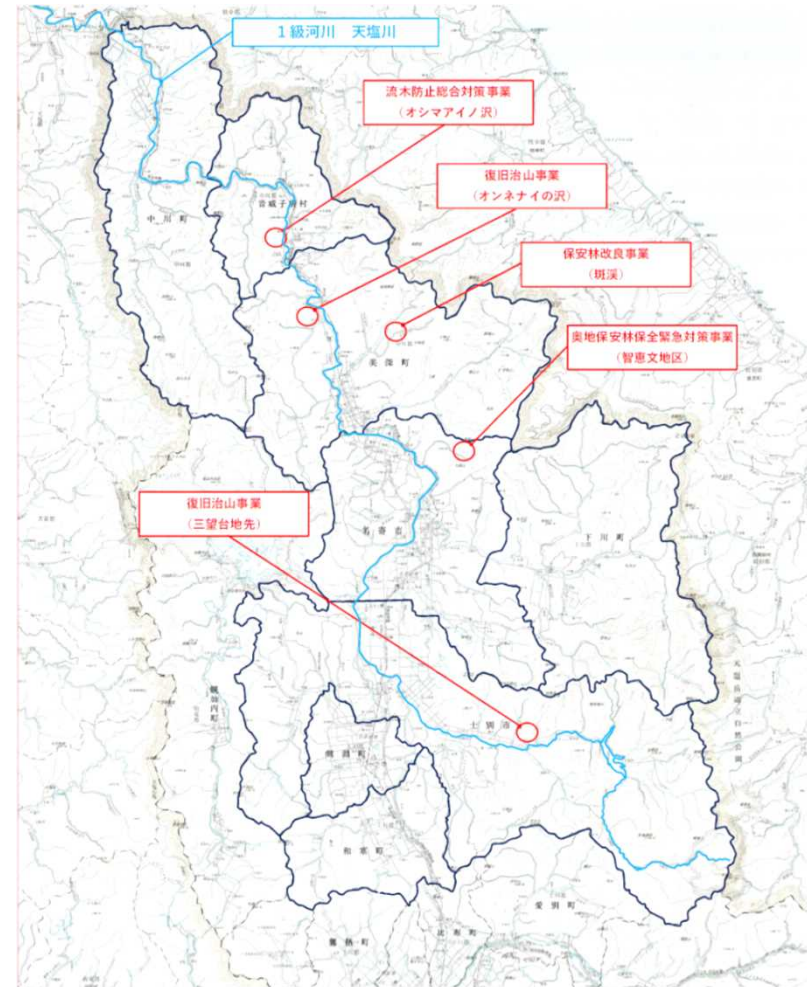


# 【上川総合振興局林務課・北部森林室】流域治水プロジェクトの取組 ～令和3年度～

計画表(上川総合振興局林務課・北部森林室)

項目	短期 (R3~R7)	中期 (~R12)	長期 (R13~)
復旧治山事業 (三望台地先・オンネナイの沢)	R4以降随時見直し(予定)		
流木防止総合対策事業 (オシマアイノ沢)	R4以降随時見直し(予定)		
奥地保安林保全緊急対策事業 (智恵文地区)	R4以降随時見直し(予定)		
保安林改良事業 (斑溪)	R4以降随時見直し(予定)		

R3年度の取組内容

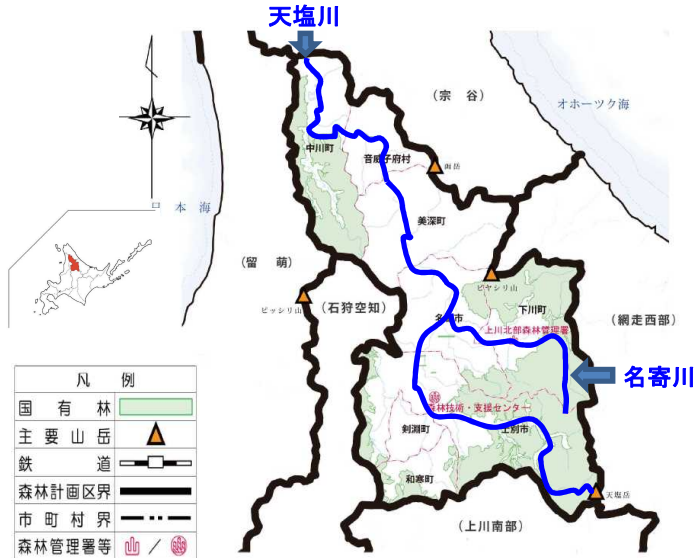


実施年度	工種・数量	実施箇所
令和3年度	山腹工 0.09ha 溪間工 2基 溪間工 2基 溪間工 2基 森林整備 36.20ha	三望台地先 オンネナイの沢 オシマアイノ沢 智恵文地区 斑溪

# 【上川北部森林管理署】流域治水プロジェクトの取組 ～令和3年度～

## 計画表(上川北部森林管理署)

国有林野施業実施計画			
事業区分	上川北部森林計画区 (H30年度～R4年度)		
治山	溪間工	16	箇所
	山腹工	1	箇所
	植栽工	86	ha
	本数調整伐	84	ha
森林整備	間伐	5,069	ha
	更新(造林)	334	ha
	保育(下刈)	5,526	ha
	(除伐)	4,598	ha
	林道(開設)	16,700	m
	(改良)	30	m



## 令和3年度の取組内容

令和3年度 名寄川二オイ沢2治山工事 施工前・施工後



既設堰堤による水面落差は、4m程あり遡上不可能箇所であった。既設堰堤上下流の環境、条件を考慮し、既設ダムへの切下げを令和2年度に実施し、令和3年度に2基の魚道機能付き谷止工を新設し、遡上可能な水面落差へと改善した。

令和3年度 名寄川支流カジカ沢治山工事 施工前・施工後



既設堰堤による水面落差は、4.3m程あり遡上不可能箇所であった。既設堰堤上下流の環境、条件を考慮し、遡上可能となるよう折返し式魚道を新設した。

# 【国立研究開発法人森林研究・整備機構 森林整備センター北海道水源林整備事務所】

## 流域治水プロジェクトの取組 ～令和3年度～

計画表(森林整備センター北海道水源林整備事務所)

項目	短期 (R3~R7)	中期 (~R12)	長期 (R13~)
水源林造成事業	→		

### R3年度の取組予定

- ・水源林造成事業は、奥地水源地域の民有保安林のうち、所有者の自助努力等によっては適正な整備が見込めない箇所において、針広混交林等の森林を整備することにより、森林の有する公益的機能の高度発揮を図る事業です。

- ・水源林造成事業地において除間伐等の森林整備を計画的に実施することで、樹木の成長や下層植生の繁茂を促し、森林土壌等の保水力の強化や土砂流出量の抑制を図り、流域治水を強化促進します。

- ・天塩川流域における水源林造成事業地は、約21箇所（森林面積約9百ha）であり、流域治水に資する除間伐等の森林整備を計画的に実施していきます。

### R3年度の取組内容

氾濫をできるだけ防ぐ・減らす為の対策  
森林整備 間伐実施



間伐実施前



間伐実施後



# 【旭川地方気象台】流域治水プロジェクトの取組 ～令和3年度～

## ◆防災気象情報の利活用推進

### ■定期的な気象解説の実施

気象台では、市町村や振興局を対象に住民の具体的な防災行動に結びつけるための取組の一環として、「あなたのまちの予報官TV」と称して、オンラインによる気象解説を週2回（1回5分程度）実施。

#### 【解説内容】

- 》向こう一週間の天気について解説。
- 》防災上注意・留意している気象現象について
  - ・「気象台からのコメント」
  - ・「警報・注意報（今後の推移）」
  - ・「早期注意情報（警報級の）可能性」

の内容も適宜補足

今日・明日のポイント

天気図 11月29日6時現在

予報天気図 今日今夜 11月29日21時

予報天気図 明日今夜 11月30日21時

気象	03:00	06:00	09:12	12:15	15:18	18:21	21:24	00:03	03:06	備考
北海道旭川地方										晴
北海道網走地方										晴
気温	15	15	15	15	15	13	13			
降水	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
湿度	55	55	55	55	55	53	50			
風速	2.5	2.5	3	3	3	3	3			

気象台からのコメント

令和3年11月29日 9時19分 発表

【解説内容】  
 上川・留萌地方に発表中の濃霧注意報は29日昼前に、留萌地方に発表中の強風・波浪注意報は29日夜速くは解除する予定です。  
 上川・留萌地方では29日夕方に強風・波浪注意報を解除する予定です。また、30日夕方に曇りなどの注意報を解除する可能性があります。

【早期注意情報（警報級の）可能性】  
 12月1日から2日は低気圧が通過しながら北海道付近を通過する見込みです。風と波の早期注意情報（警報級の可能性）を「中」としてします。今後の防災気象情報に留意してください。

【雪の予報】 単位:cm

降雪予想	まとめた地域	06時～18時	18時～06時
上川田舎	0-1	0-1	
上川田舎	0-1	0-1	

### ■気象防災ワークショップの実施

内閣府「避難情報に関するガイドライン」を基本とし、気象台から発表される防災情報に基づいて、架空の町の防災担当として防災対応を疑似体験していただきます。令和3年度は、オンラインにより実施

土砂災害あるいは洪水災害が発生するおそれがある状況において、気象台から発表される様々な情報を参照しながら少人数によるグループワークを行います。

ワークショップを通じて、各種防災気象情報を適切に理解し、有効活用するとともに、体制の強化や避難情報発令のタイミングなどに関する検討を行い、判断のポイントを学ぶことで防災対応力向上を目指します。

